

2021年2月17日 全7頁

Indicators Update

2021年1月貿易統計

春節に向けた輸出の前倒しが発現するも、輸出数量は足踏み継続

経済調査部 エコノミスト 鈴木 雄太郎

[要約]

- 2021年1月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+6.4%とコンセンサス(同+7.0%)を若干下回った。季節調整値で見ると、8ヶ月連続の増加となった。11月、12月の輸出金額は欧米で実施された新型コロナウイルス感染拡大防止策の影響で伸びが鈍化した。1月は前月比+4.4%と前月から加速した。
- 輸出数量(大和総研による季節調整値)は前月比▲1.1%と2ヶ月連続で減少した。地域別に見ると、アジア向け(同+4.0%)は増加したものの、米国向け(同▲2.6%)やEU向け(同▲8.2%)はいずれも2ヶ月連続で減少した。1月の輸出数量は欧米向けの輸出が経済活動の制限を受け減少傾向が継続し、アジア向け輸出の増加が全体を下支えした構図だ。ただしアジア向けの輸出には、2月の春節に向けた輸出の前倒しが含まれている可能性がある。2月に反動減が見込まれることを考慮すると、1月も足踏み状態が継続しているといえよう。
- 先行きの輸出は、回復基調に転換するとみている。ただし増加ペースは緩やかなものにとどまろう。欧米ではこのところ新規感染者数が減少傾向にある。経済活動の正常化に向かえば、欧米向け輸出は増加基調に転じるとみている。

図表1：貿易統計の概況

		2020年								2021年
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
原系列 前年比 %	輸出金額	▲28.3	▲26.2	▲19.2	▲14.8	▲4.9	▲0.2	▲4.2	2.0	6.4
	コンセンサス									7.0
	DIRエコノミスト予想									7.0
	輸入金額	▲26.1	▲14.4	▲22.3	▲20.7	▲17.4	▲13.2	▲11.1	▲11.6	▲9.5
	輸出数量	▲27.3	▲26.9	▲21.9	▲14.9	▲7.7	▲1.6	▲4.0	▲0.1	5.3
	価格	▲1.4	1.0	3.5	0.1	3.0	1.5	▲0.2	2.1	1.0
季節 調整値 前月比 %	輸入数量	▲14.6	▲0.8	▲14.0	▲11.6	▲8.4	▲5.7	▲2.4	▲2.1	▲4.3
	価格	▲13.5	▲13.7	▲9.6	▲10.3	▲9.7	▲8.0	▲8.9	▲9.6	▲5.5
	貿易収支(億円)	▲8,413	▲2,729	71	2,444	6,837	8,692	3,625	7,496	▲3,239
	輸出金額	▲5.7	2.2	6.6	5.8	4.5	2.8	0.2	0.3	4.4
	数量	▲9.4	4.5	6.3	10.5	2.6	6.6	3.7	▲1.2	▲1.1
	価格	4.1	▲2.2	0.3	▲4.3	1.9	▲3.6	▲3.3	1.5	5.5
季節 調整値 前月比 %	輸入金額	▲11.4	▲1.6	▲2.5	1.3	3.0	3.4	▲2.3	1.8	6.9
	数量	▲10.1	0.0	▲2.7	▲0.0	0.5	4.8	0.7	0.6	▲2.8
	価格	▲1.5	▲1.7	0.2	1.3	2.5	▲1.4	▲3.0	1.2	10.0
	貿易収支(億円)	▲5,232	▲3,286	1,328	3,717	4,707	4,487	5,920	5,123	3,928
税関長公示レート		107.17	107.78	107.23	106.19	105.96	105.51	104.68	104.11	103.57

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

大和証券グループ 株式会社大和総研 丸の内オフィス 〒100-6756 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキョウノースター

このレポートは投資勧誘を意図して提供するものではありません。このレポートの掲載情報は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、記載された意見や予測等は作成時点のものであり今後予告なく変更されることがあります。大和総研の親会社である大和証券ホールディングスと大和証券(株)、大和証券グループ本社を親会社とする大和証券グループの会社です。内容に関する一切の権利は大和総研にあります。無断での複製・転載・転送等をご遠慮ください。

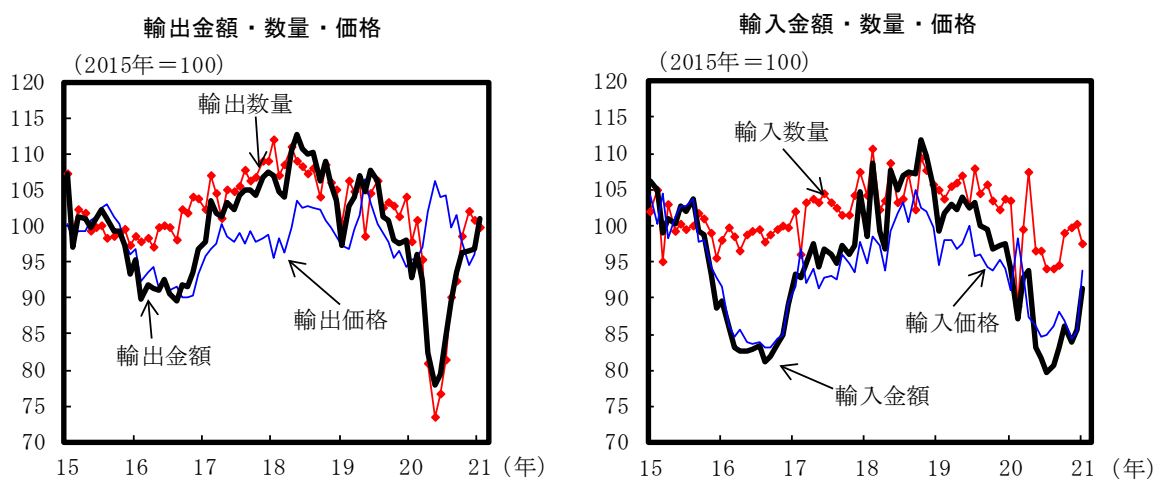
【貿易金額】輸出金額は2ヶ月連続で前年を上回るも、コンセンサスには僅かに届かず

1月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+6.4%と2ヶ月連続で前年を上回り、伸び率も前月（20年12月：同+2.0%）から拡大したが、コンセンサス（同+7.0%）を若干下回った。季節調整値で見ると、季節調整のかけ直しによって11月、12月の前月比伸び率がプラス転換し、8ヶ月連続の増加となった。11月、12月の輸出金額は欧米で実施された新型コロナウイルス感染拡大防止策の影響で伸びが鈍化したが、1月は前月比+4.4%と前月から加速した。なお、後述の通り、輸出数量は減少しており、1月の輸出金額の増加は価格要因の影響が大きい。

他方、1月の輸入金額は前年比▲9.5%、前月比（季節調整値）で+6.9%であった。輸入金額は前月比で見ると2ヶ月連続で増加した。液化石油ガスや石炭などのエネルギー関連の価格上昇が押し上げに寄与した。

輸入金額の回復を受け、貿易収支は▲3,239億円と赤字転換した。季節調整値では3,928億円と7ヶ月連続で黒字となった。輸入の回復を受け、季節調整値の黒字幅は縮小傾向にある。

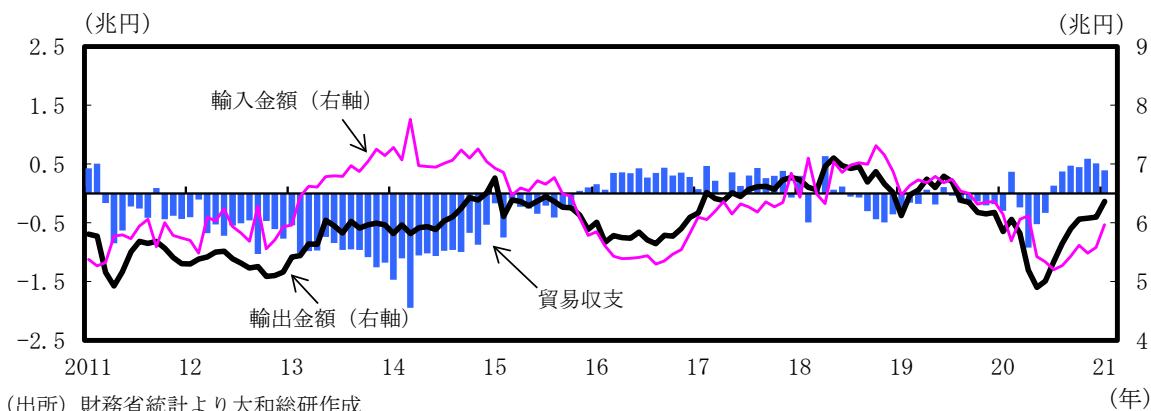
図表2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】春節に向けた輸出の前倒しが発現するも、足踏み継続

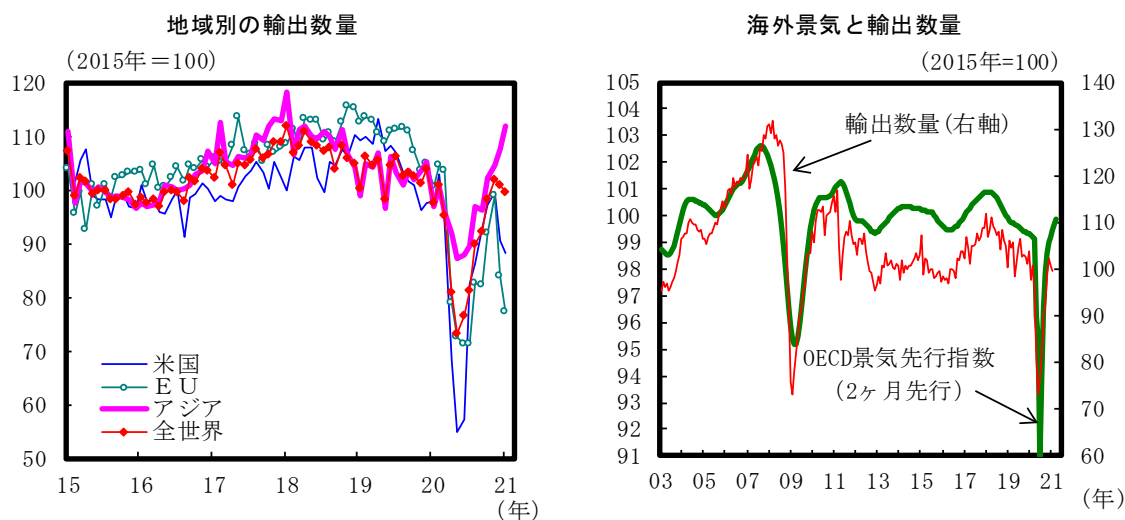
1月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲1.1%と2ヶ月連続で減少した。地域別に見ると、アジア向け（同+4.0%）は4ヶ月連続で増加したものの、米国向け（同▲2.6%）、EU向け（同▲8.2%）はいずれも2ヶ月連続で減少した。欧米向け輸出は減少傾向が継続しており、アジア向け輸出の増加が全体を下支えした構図だ。もっとも、アジア向けの輸出には、2月の春節に向けた輸出の前倒しが含まれている可能性がある。2月に反動減が見込まれることを考慮すると、1月も足踏みが継続しているといえよう。

地域別・品目別に見ると、アジア向けでは自動車や原動機などが増加した。いずれも中国向けが増加している。中国向けではそのほかにもICや鉄鋼など幅広い品目で増加しており、全体を押し上げた。

米国向けでは自動車の部分品や原動機が全体を押し下げた。自動車輸出は11月以降減少していたものの、足元では下げ止まりの兆しが見られる。ただし、自動車用半導体の不足などによる供給制約が一部で生じている点には留意が必要だ。

EU向けは電算機類（含周辺機器）や同部分品が減少に寄与した。ロックダウン（都市封鎖）の影響に加え、ドイツでは時限措置であったVAT（付加価値税）減税の期限を2020年末を迎えたことから、その反動減も発現したとみられる。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 内閣府、財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】足踏みから回復基調へ転換する見込み、ただし増加ペースは緩やかなものとどまる

先行きの輸出については、足踏みから回復基調へ転換するとみている。ただし増加ペースは緩やかなものとどまろう。欧米ではロックダウン措置等が継続的に実施されたことで新規感染者数はこのところ減少傾向にある（図表5）。加えて、2020年末からワクチンの接種も開始している。各国とも最悪期を脱しており、経済活動の制限措置の出口に向けた議論も開始している。11月以降の日本からの輸出は各国で実施された感染拡大防止策の影響を受け足踏みしたが、今後は各国の経済活動の再開に伴い増加基調に転じるとみている。ただし、各国の製造業の生産や小売売上高は既にコロナショック前の水準に達しているため今後の輸出の回復ペースは緩やかなものとどまるだろう。

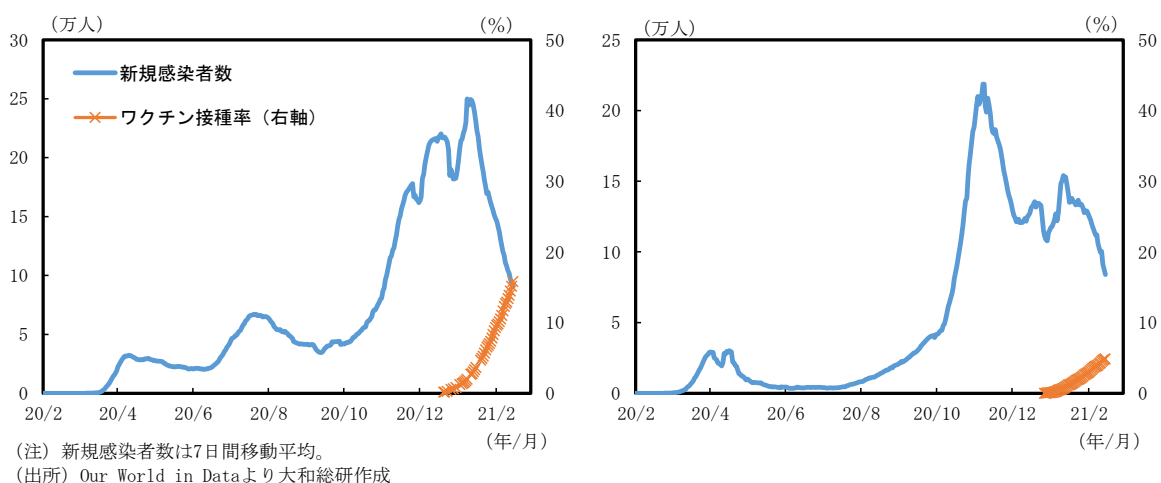
国別に見ると、米国向けは底堅く推移するとみられる。2020年末に成立した追加の経済対策によって1人当たり最大600ドルの現金給付や失業保険の拡充が実施されている。こうした対策によって個人消費は底堅く推移し輸出の押し上げ要因となろう。

一方、欧州向けは短期的には足踏みが続くとみている。先述の通り、2020年末までドイツ向けの輸出はVAT（付加価値税）減税の期限切れに伴い駆け込み需要が発生していた。短期的にはこの反動で伸び悩むとみている。

これまで輸出全体を押し上げてきた中国向けについて、2月は春節要因で落ち込むとみられるものの、均せば底堅く推移するとみている。中国の鉱工業生産の前年比伸び率は2020年4月にプラスに転じ、足元まで伸び率が加速している¹。また製造業の固定資産投資も米中関係の改善期待を背景に回復することが見込まれ、資本財関連の輸出増も期待できよう。

ただし、足元では中国から欧米向けのコンテナ船の運賃価格が急騰している。背景には、中国からの輸出需要が急増や、欧米の港湾が正常化していないことによる待機時間が発生していることなどが挙げられる。こうした供給制約によって中国から欧米向けの輸出が滞れば、日本から中国向けの部材・中間財の輸出も短期的に弱含むリスクには注意が必要だ。

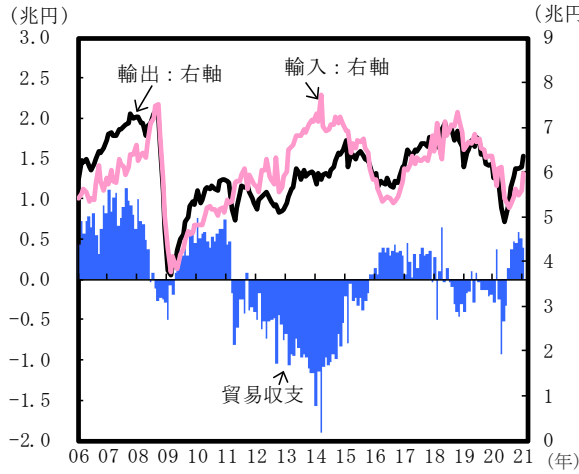
図表5：新規感染者数とワクチン接種率（左：米国、右：EU）



¹ 詳細は齋藤尚登「[中国：V字回復下の中国経済の注目点](#)」（2021年1月20日、大和総研レポート）を参照。

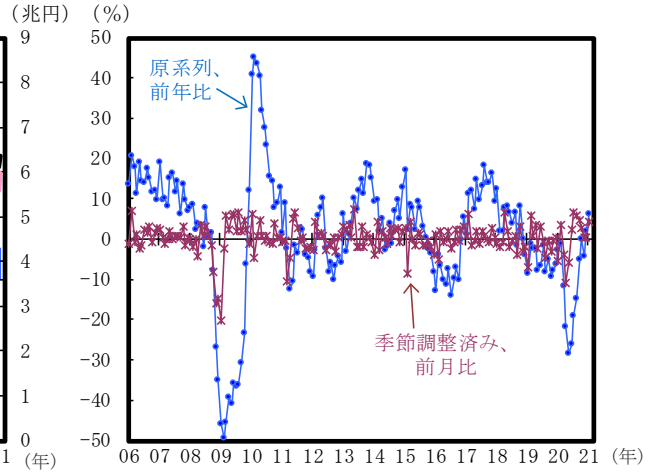
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

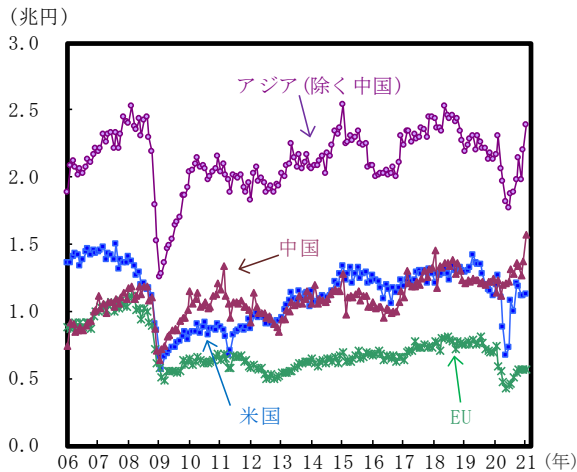


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

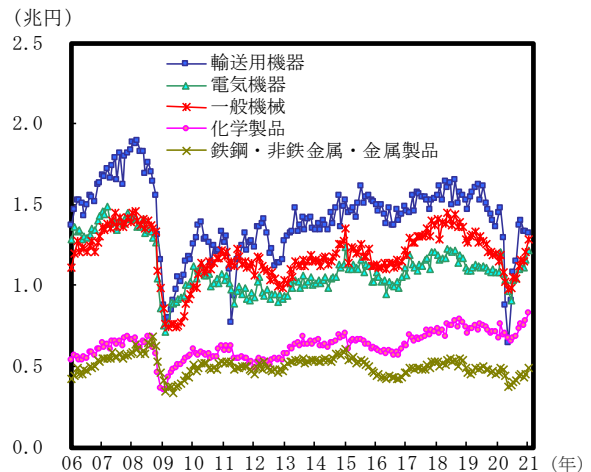


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

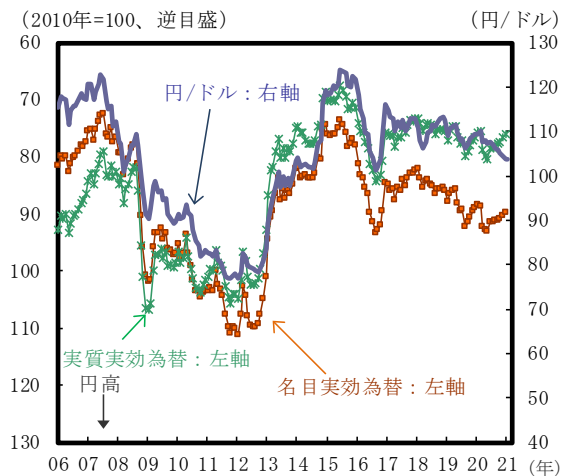


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

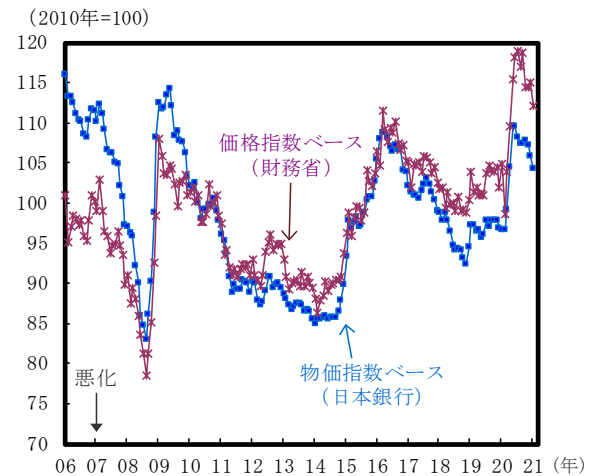


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳									
	2020/08	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12	2021/01			
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt	
総額	▲14.8	▲4.9	▲0.2	▲4.2	2.0	6.4	100.0	6.4	
食料品	13.1	15.6	21.5	9.8	13.9	41.8	1.1	0.4	
原料品	▲6.4	5.7	22.2	10.4	24.1	17.3	1.6	0.2	
鉱物性燃料	▲68.8	▲60.6	▲68.6	▲59.9	▲51.5	▲40.3	1.2	▲0.9	
化学製品	▲8.2	1.7	8.2	5.5	10.0	23.6	13.6	2.8	
原料別製品	▲14.1	▲11.3	▲3.7	▲10.6	▲1.6	6.0	10.9	0.7	
鉄鋼	▲27.4	▲29.1	▲20.4	▲18.5	▲11.8	▲8.3	3.6	▲0.4	
非鉄金属	30.2	41.2	32.3	14.8	23.2	31.1	2.5	0.6	
金属製品	▲21.7	▲12.0	1.7	▲9.6	4.3	13.4	1.6	0.2	
一般機械	▲16.8	▲7.8	▲2.8	▲3.0	0.3	12.5	18.7	2.2	
電気機器	▲5.5	1.0	4.6	1.0	6.6	13.2	18.4	2.3	
半導体等電子部品	▲0.4	3.3	▲2.7	▲4.0	5.0	11.4	5.8	0.6	
I C	▲2.8	0.7	▲7.8	▲6.4	1.4	5.3	4.0	0.2	
映像機器	▲28.7	▲9.4	12.9	5.8	4.6				
映像記録・再生機器	▲29.0	▲7.8	20.7	10.3	8.6	▲5.9	0.3	▲0.0	
音響・映像機器の部分品	▲8.9	1.7	6.4	13.4	▲11.1	22.2	0.3	0.1	
電気回路等の機器	▲13.6	▲2.2	4.8	0.7	7.4	19.7	2.6	0.5	
輸送用機器	▲23.2	▲7.2	▲1.9	▲4.5	▲2.7	▲8.7	21.0	▲2.1	
自動車	▲19.4	▲0.5	3.0	▲3.0	▲4.2	▲5.8	13.7	▲0.9	
自動車の部分品	▲21.0	▲7.7	4.0	▲2.9	2.7	▲0.5	4.4	▲0.0	
その他	▲11.7	▲0.1	1.3	▲10.0	5.3	6.8	13.4	0.9	
科学光学機器	▲17.6	▲6.9	1.1	▲11.8	▲3.6	11.1	2.8	0.3	

米国向け輸出金額 内訳									
	2020/08	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12	2021/01			
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt	
総額	▲21.3	0.6	2.5	▲2.5	▲0.7	▲4.8	100.0	▲4.8	
食料品	▲5.8	10.9	1.8	13.1	16.4	27.1	0.9	0.2	
原料品	3.5	7.7	29.5	▲13.7	24.8	8.8	1.0	0.1	
鉱物性燃料	▲89.7	▲90.6	▲96.4	▲83.3	▲93.5	▲84.6	0.0	▲0.2	
化学製品	▲39.3	▲1.6	▲2.1	▲13.9	▲3.2	12.7	9.7	1.0	
原料別製品	▲27.5	▲18.5	▲9.6	▲14.3	▲1.6	▲3.6	6.6	▲0.2	
鉄鋼	▲44.4	▲34.0	▲32.3	▲22.1	▲15.4	0.2	1.2	0.0	
非鉄金属	▲43.0	▲40.2	▲39.5	▲16.9	▲10.6	▲19.2	0.7	▲0.2	
金属製品	▲17.7	▲11.0	10.7	▲14.3	0.0	▲1.2	1.9	▲0.0	
一般機械	▲34.8	▲19.4	▲8.6	▲4.9	▲5.8	▲7.8	21.5	▲1.7	
電気機器	▲12.5	1.7	12.6	0.5	2.9	▲3.4	14.1	▲0.5	
半導体等電子部品	▲15.6	▲5.8	▲1.2	6.1	0.3	3.0	1.5	0.0	
I C	▲20.2	▲4.4	▲11.1	▲5.4	1.3	▲12.2	0.6	▲0.1	
映像機器	▲31.9	▲3.4	16.4	11.0	5.6				
映像記録・再生機器	▲33.8	▲7.6	26.4	13.2	14.2	▲10.9	0.6	▲0.1	
音響・映像機器の部分品	▲46.7	▲27.2	20.1	6.5	▲19.9	13.5	0.2	0.0	
電気回路等の機器	▲18.6	4.1	9.4	1.7	4.8	6.9	1.6	0.1	
輸送用機器	▲8.6	12.2	15.3	3.5	2.1	▲6.7	35.6	▲2.4	
自動車	▲3.5	19.1	22.5	6.6	3.9	▲0.6	27.7	▲0.1	
自動車の部分品	▲18.3	▲1.1	18.6	6.1	12.8	▲8.5	5.9	▲0.5	
その他	▲17.5	19.6	▲7.3	▲6.6	2.7	▲9.2	10.5	▲1.0	
科学光学機器	▲26.0	▲10.8	9.6	2.7	▲1.0	▲0.7	2.3	▲0.0	

EU・英国向け輸出金額 内訳									
	2020/08	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12	2021/01			
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt	
総額	▲32.8	▲24.0	▲19.4	▲18.2	▲17.8	▲22.5	100.0	▲22.5	
食料品	▲8.4	▲9.3	11.0	12.1	▲5.5	▲4.7	0.5	▲0.0	
原料品	▲39.9	▲14.7	▲14.3	▲38.1	▲31.3	▲12.8	0.9	▲0.1	
鉱物性燃料	▲4.1	▲91.8	▲84.9	▲90.2	▲62.3	▲8.8	0.1	▲0.0	
化学製品	▲14.7	▲12.8	2.6	5.7	4.1	▲5.5	14.1	▲0.6	
原料別製品	▲35.5	▲32.4	▲17.1	▲20.7	▲18.9	▲6.5	6.4	▲0.3	
鉄鋼	▲37.7	▲47.1	9.7	▲24.7	▲40.7	▲7.8	0.6	▲0.0	
非鉄金属	▲45.4	▲52.0	▲28.7	▲20.6	▲14.2	▲25.8	0.8	▲0.2	
金属製品	▲42.8	▲25.3	▲20.2	▲22.9	▲0.6	13.9	1.8	0.2	
一般機械	▲34.2	▲26.5	▲19.2	▲8.8	▲13.8	▲18.5	21.0	▲3.7	
電気機器	▲20.4	▲16.4	▲12.3	▲11.0	▲1.3	▲8.1	18.9	▲1.3	
半導体等電子部品	▲15.5	▲9.8	▲1.0	▲10.6	2.5	3.9	2.6	0.1	
I C	▲19.6	▲9.3	▲9.6	▲17.0	▲6.1	10.8	1.1	0.1	
映像機器	▲37.3	▲12.8	15.6	0.9	26.6				
映像記録・再生機器	▲36.0	2.4	38.8	13.3	43.5	19.2	0.8	0.1	
音響・映像機器の部分品	▲7.0	▲17.8	▲9.7	▲22.8	▲28.7	10.1	0.2	0.0	
電気回路等の機器	▲36.3	▲24.0	▲18.8	▲16.3	▲6.9	▲9.5	1.7	▲0.1	
輸送用機器	▲36.6	▲20.5	▲27.6	▲29.4	▲33.7	▲28.7	24.1	▲7.5	
自動車	▲41.3	▲20.2	▲34.4	▲35.5	▲49.4	▲32.6	13.0	▲4.9	
自動車の部分品	▲17.8	▲14.0	▲3.4	▲9.2	▲0.7	▲1.3	7.5	▲0.1	
その他	▲46.6	▲36.8	▲25.0	▲27.1	▲23.5	▲44.7	14.1	▲8.8	
科学光学機器	▲22.1	▲14.9	▲10.0	▲17.2	10.7	▲0.9	3.5	▲0.0	

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2020/08	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12	2021/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲7.8	▲2.0	4.4	▲4.3	6.1	19.4	100.0	19.4
食料品	17.2	18.4	24.5	6.8	14.7	53.5	1.5	0.6
原料品	▲3.2	7.4	25.9	19.2	30.9	21.1	2.2	0.5
鉱物性燃料	▲52.7	▲34.7	▲49.1	▲47.5	▲33.2	▲22.6	1.8	▲0.6
化学製品	▲5.3	0.9	9.6	5.6	11.7	31.7	17.1	4.9
原料別製品	▲10.7	▲6.3	0.5	▲6.5	1.0	13.8	13.3	1.9
鉄鋼	▲27.5	▲26.8	▲18.6	▲15.5	▲11.8	▲0.3	4.7	▲0.0
非鉄金属	33.7	54.4	41.9	23.3	31.9	37.8	3.8	1.2
金属製品	▲18.6	▲11.8	▲1.7	▲8.6	3.8	19.4	1.6	0.3
一般機械	▲6.0	0.1	3.2	▲4.7	1.9	26.0	18.7	4.6
電気機器	▲2.3	2.9	4.9	1.4	8.5	20.6	22.4	4.6
半導体等電子部品	1.0	4.2	▲2.9	▲4.3	5.2	12.1	9.1	1.2
I C	▲1.8	1.1	▲7.8	▲6.2	1.5	5.7	6.4	0.4
映像機器	▲22.2	▲16.7	▲2.6	▲3.5	▲12.4			
映像記録・再生機器	▲24.7	▲15.8	4.6	2.9	▲13.3	▲10.7	0.2	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲2.3	4.3	▲2.9	15.4	▲9.2	26.5	0.3	0.1
電気回路等の機器	▲10.1	▲0.6	6.2	1.4	10.9	24.9	3.4	0.8
輸送用機器	▲19.1	▲12.6	▲0.8	▲12.3	9.8	▲5.8	7.8	▲0.6
自動車	▲9.6	▲3.9	0.2	▲5.8	7.1	▲3.2	4.0	▲0.2
自動車の部分品	▲25.5	▲15.2	▲5.4	▲11.2	▲3.8	3.2	2.9	0.1
その他	▲9.6	▲3.5	8.3	▲12.5	5.9	23.9	15.2	3.5
科学光学機器	▲15.5	▲5.8	▲0.0	▲14.6	▲7.7	15.4	3.3	0.5

中国向け輸出金額 内訳								
	2020/08	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12	2021/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	5.1	14.0	10.2	3.8	10.2	37.5	100.0	37.5
食料品	▲1.6	14.9	10.5	9.2	18.3	77.0	0.6	0.4
原料品	15.0	11.2	30.3	40.3	79.6	58.3	1.9	0.9
鉱物性燃料	▲58.4	▲14.1	▲46.2	▲20.1	▲47.5	91.4	0.9	0.6
化学製品	2.5	4.3	4.2	1.9	7.6	40.4	18.8	7.4
原料別製品	23.2	30.4	9.8	2.8	6.0	40.9	11.7	4.7
鉄鋼	18.3	14.3	▲0.0	▲4.8	▲13.7	11.7	3.2	0.5
非鉄金属	81.4	101.6	34.5	31.4	44.8	104.0	3.9	2.8
金属製品	▲1.5	0.8	3.3	▲4.0	4.1	42.8	1.7	0.7
一般機械	6.0	20.7	15.4	2.4	6.0	44.3	22.7	9.6
電気機器	5.6	4.4	4.6	2.2	8.1	32.0	20.9	7.0
半導体等電子部品	10.0	▲14.5	▲16.1	▲17.0	▲6.4	4.1	6.2	0.3
I C	9.0	▲28.8	▲29.7	▲26.7	▲15.9	▲10.0	4.0	▲0.6
映像機器	▲20.0	▲18.2	7.2	0.7	▲20.4			
映像記録・再生機器	▲28.0	▲19.2	11.3	5.2	▲24.3	▲14.5	0.4	▲0.1
音響・映像機器の部分品	20.9	19.2	▲11.4	9.0	▲28.9	64.9	0.5	0.2
電気回路等の機器	▲3.2	10.0	15.7	9.0	18.4	38.0	3.5	1.3
輸送用機器	18.7	23.5	16.1	4.1	6.3	12.6	9.3	1.4
自動車	29.0	33.6	22.4	12.3	11.2	13.5	5.4	0.9
自動車の部分品	7.8	8.8	5.0	▲4.4	▲0.6	10.4	3.7	0.5
その他	▲8.7	13.3	18.3	9.0	25.8	43.3	13.2	5.5
科学光学機器	▲17.5	▲5.6	▲10.9	▲18.1	▲20.0	0.7	4.1	0.0

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成